

| | |
|------------------------|--|
| 令和3年1月 第1回南部町教育委員会 議事録 | |
| 開催日時 | 令和3年1月21日(木) 午後1時30分～午後4時00分 |
| 開催場所 | 南部町役場法勝寺庁舎2階 大会議室 |
| 出席者 | 福田教育長・井上委員・板委員・瀬田委員・畠委員 |
| 説明員 | 安達教育次長、岩田人権・社会教育課長、水嶋総務・学校教育課長 |
| 書記 | 渡邊室長 |
| | 【開会 午後1時30分】 |
| | 【1. 互礼・開会】 |
| | 【2. 挨拶】 |
| 教育長 | 開会挨拶 |
| | 【3. 非公開案件の決定】 |
| | 9. 報告Ⅱ |
| | 【4. 議事Ⅰ】 |
| 教育長 | 議案第1号「令和2年度南部町教育委員会スポーツ・文化表彰」について |
| 課長 | 当日議案にて説明 |
| 委員 | 各団体から報告が上がってきた内容を事務局が精査し、教育委員会で審議する運び となっているのか。 |
| 委員 | 賞の決定については、基準を明確にし、団体と協議をした上で提案してほしい。 |
| 教育長 | 今回、団体からの提案と事務局の判断の中で差異が生じているが、判断基準と照らし 合わせて、賞を決定する。 |
| 教育長 | 他に異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし |
| 教育長 | 議案第1号「令和2年度南部町教育委員会スポーツ・文化表彰」については承認とする。 |
| 教育長 | 議案第2号「南部町家庭教育支援チーム設置要綱」について |
| 課長 | 議案P.5-6説明 |
| 委員 | 個別訪問は家庭が希望されて行うのか、それとも就学時健診等で気になる家庭を 訪問するのか。 |
| 課長 | 来年度に小学校入予定者の全家庭を訪問する予定である。支援チームとのつながりを 作り、気軽に相談できる体制を構築する。 |
| 委員 | 就学前の子どもがいる家庭のみ訪問予定であるか。 |
| 課長 | 就学前の児童を考えている。3月と1学期終了後とさらにもう1回の合計3回訪問する予定 である。 |
| 委員 | それ以外の不安を持っているご家庭への対応はどうするのか。子育て支援課とどう連携 していくのか。 |
| 課長 | 今回は支援チームの設置要綱についてご審議いただき、実施要項については、今後実践 しながら充実させていく。 |
| 教育長 | 訪問型家庭教育支援はアウトリーチ型といって届ける支援といわれている。相談がある ご家庭は、子育て支援課や教育委員会へ連絡をして相談に来られている。しかし、なか |

| | |
|-----|--|
| | なか相談できない家庭が、アンケートから1割強あるという結果が出ている。そのため戸別訪問をして顔見知りになり、相談しやすい体制を整えていく。和歌山では0歳から6歳の家庭を全戸訪問をしている町もある。南部町は人数の関係もあるので、一定の年齢の時に訪問を実施していく。本当に必要なのはどこなのかを見極め、一度やってみる。その上で支援が必要な家庭には2度、3度と訪問していく。まずは不安が大きい就学の時を考え、実施しようと思っている。今後、子育て支援課や福祉事務所と連携を取りながら、取りこぼしなく実施していく。 |
| 委員 | 民生児童委員さんと一緒に回っていったらよいと思う。研修会等も考えているか。 |
| 課長 | 7名くらいを基幹チームとして教育委員会事務局より選定し、支援員も同程度の人数で構成している。実施するにあたって、打合せは十分に行っていく。 |
| 教育長 | 他に異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし |
| 教育長 | 議案第2号「南部町家庭教育支援チーム設置要綱」については承認とする。 |
| | 議案第3号「南部町オオサンショウウオ保護指針」について |
| 課長 | 別冊議案説明 |
| 委員 | 保護指針(案)の中に飼育と書いてあったが、許可を取れば飼育できるのか。 |
| 教育長 | 広島の安佐動物公園が人工飼育をしていて、それを譲り受けるのは環境省の管轄である。許可申請を経て、生態の展示をしていきたい。 |
| 委員 | これまでの背景について説明があったが、天然記念物生息地指定が今も除外の状況であるか。 |
| 課長 | 除外されたままになっている。 |
| 委員 | 護岸工事ができないとのことで、地域より解除の希望があったとの記憶がある。地元の要望にも配慮しながら共存できる保護方法を考えてほしい。 |
| 教育長 | 天然記念物を保護するといった指針がなかったので生活を改善する住民の暮らしの中でこのようなことになっていたのではないか。文化財保護審議会でも検討いただき了解を得ている。 |
| 委員 | なんぶハンザキ調査隊とはどのようなものか。 |
| 課長 | 町内外の人で構成されている。調査を行うとき、今までは調査隊のみでは活動できなく、町職員と一緒に実施していたが、この度調査隊に業務委託をして活動しやすくなった。 |
| 教育長 | 町にはライセンスを持った方がいて、その指示で人工巣穴の観察等ができています。調査隊はこの方に指示、指導を仰いで活動を行っている。 |
| 教育長 | 他に異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし |
| 教育長 | 議案第3号「南部町オオサンショウウオ保護指針」については承認とする。 |
| | 【5. 議事Ⅱ】 |
| | なし |
| | 【6. 専決処分Ⅰ】 |
| 教育長 | 専決処分第1号「南部町立西伯小学校主任・主事の変更」について |
| 課長 | 議案P7説明 |

| | |
|-----|--|
| 教育長 | 異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし |
| 教育長 | 専決処分第1号「南部町立西伯小学校主任・主事の変更」については承認とする。 |
| | 【7.専決処分Ⅱ】 |
| | なし |
| | 【8.報告Ⅰ】 |
| | ①月例報告 |
| 教育長 | 議案P.2説明 |
| | ②事務局関係 |
| | ○新型コロナウイルス感染症対策に対応した取組について |
| 次長 | 別添資料P.1-2説明 |
| | ③総務・学校教育課関係 |
| | ○学校臨時休業について |
| 課長 | 1月7日、8日と暴風雪に伴う警報により臨時休業した。防災無線が流れなかったこと等により、各方面から苦言等があった。今回この反省を踏まえ、臨時休業の対応について学校、事務局で対策を確認した。 |
| 委員 | 8日は問題はなかったか。登校した児童生徒はいなかったか。 |
| 課長 | 1月7日の反省を生かし、防災無線等で周知を図ったので、問題なく対応できた。 |
| | ④人権・社会教育課関係 |
| | ○令和2年度南部町成人式(1月10日 とっとり花回廊)について |
| 課長 | 別添資料P.3-7説明 |
| | ○板祐生記念館キャッチフレーズ決定について |
| 課長 | 南部町観光協会から、キャッチフレーズの更新をしないかと助言いただき、公募したところ648点、183人から応募があった。この中で、最優秀賞1点、優秀賞を5点の計6点を決定した。最優秀賞に井上可奈子さんの「情熱と知恵で集めた大正～昭和のなつかしきコレクション」に決まった。 |
| 委員 | 板祐生のキャッチフレーズはどんな時に使うのか。 |
| 教育長 | 観光協会にはタイアップして募集をしてもらった。パンフレットなどに使用していく。 |
| | 【10. 協議Ⅰ】 |
| | 1)委員提案(報告) |
| 委員 | CSの会へ出席し、2学期の保護者、生徒のアンケートで、課題として「挨拶、自主学習」が上がった。小学校での6年間の取組が生かされていないのではと思っている。南部中、会見小の意識としてランドデザインが示されているが、小中一貫として目指すのであれば、共有した方がよいと思う。 |
| 課長 | 毎年学校が作成している要覧の中に、会見小はランドデザインは9年間の学びとして挙げている。校長会でもしっかり伝えていく。 |
| | 2)事務局提案 |
| | ①コロナ禍における卒業式・入学式のあり方について |

| | |
|-----|--|
| 課長 | 校長会で卒業式、入学式について確認をした。時間短縮を行い、目標は1時間以内と |
| | している。参列者は、卒業式ならば、卒業生、教職員、保護者1家庭2名、CS会長、 |
| | PTA会長、校区の校長、在校生は小学校は現5年生、中学校は2年生を検討している。 |
| | 次年度最上級生としての自覚が持てるような工夫を検討している。中学校は、生徒会 |
| | 執行部のような代表者だけが出席のがいいのか、やはり2年生を入れた方がいいのか |
| | 検討している。最大限のコロナ対策を取って行いたい。 |
| | ②西部町村教育委員会連絡協議会(学校教育)について |
| 次長 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった。 |
| | 【11.協議Ⅱ】 |
| | なし |
| | 【12.今後の主な予定】 |
| 教育長 | 会議案P.3説明 |
| | 【13.次回委員会開催日について】 |
| 次長 | 1) 2月(第2回)定例教育委員会と「教育協働みらい会議」の開催について |
| | 日時 2月16日(火)午後1時30分～2時30分 教育協働みらい会議 |
| | 午後3時～5時 定例教育委員会 |
| | 会場 南部町役場法勝寺庁舎2階 大会議室 |
| 次長 | 教育協働みらい会議の協議については、一人一提案をお願いしたい。 |
| 委員 | 少子化の方向における園、学校の在り方について町としてはどう考えるかということで |
| | 話し合いたい。 |
| 委員 | 里地里山の選定を受けてから、町として取り組みが見えてこない。課を超えた取組方法 |
| | について話し合いたい。 |
| 委員 | コロナにおける人権意識について考えていきたい。 |
| | 【14. 互礼・閉会】 |
| | 午後4時00分 |